科目名			担当教員	
福祉社会学			牛渡　亮	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC2101	4	2	RorSR（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

近代以降の社会の発展は、それまでよりも豊かで便利な生活を私たちにもたらしました。しかしその一方で、近代社会に特有の社会構造は様々な問題を生み出し、私たちの家族関係や生活環境を脅かしています。とりわけ、近年の福祉国家の衰退と新自由主義の台頭は、社会の結びつきを揺るがし、「福祉」のあり方を大きく変容させています。そこで本講義では、社会学の知見を通して、私たちの生きる社会について考察します。社会学は、19 世紀から 20 世紀に生きた人々がみずからの生きる社会を理解しようと努力する中で鍛え上げられてきた学問です。その成果を活用しながら、ひとりひとりが現代社会における「福祉」について考えるための視角を身につけてほしいと思います。

【スクーリングで学ぶ内容】

スクーリングは、内容のつながりを理解しやすいように、教科書の内容を再構成した 3 部構成となっています。第 1 部では、社会学の基本的な問題関心や分析視角を学習します。第 2 部では、福祉について議論する上で土台となる家族生活に関わる諸問題を検討します。第 3 部では、現代の社会問題を取り上げ、福祉との関わりについて議論します。授業内容をみずからの生活や問題関心に引き寄せながら、積極的に考えてほしいと思います。

【教科書・レポート学習で学ぶ内容】

教科書は、重要語句を覚えるだけではなく、どのような議論の中でその言葉が使われているのかを確認しながら読み進めてください。また、わからない言葉や興味を持った内容については、辞書や参考図書を活用して積極的に調べてください。レポート学習は、授業内容を復習すると同時に、みずからの考えを表現する機会です。考えていることを文章にまとめようとすると、内容理解の不十分な箇所がはっきりします。その場合は、教科書や参考図書を読み直して、再度自分の考えを整理してください。

■到達目標

1 ）社会学の概念や語句を正しく理解し、説明できる。
2 ）近代以降の家族の変容を理解し、今日の家族に生じている問題との関連性を説明できる。
3 ）現代社会に生じている問題を理解し、それに対するみずからの考えを他者に表現できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目終了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座３社会理論と社会システム（第３版）』中央法規出版、2014 年（第３版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2014 年４月

（スクーリング時の教科書）スクーリング時は上記教科書を使用せず、資料を配付します。

【参考図書】

１）長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志著『社会学 新版』有斐閣、2019 年

２）アンソニー・ギデンズ著『社会学 第九版』而立書房、2025 年

３）大澤真幸著『社会学史』講談社、2019 年

４）ピーター・L・バーガー著『社会学への招待』筑摩書房、2017 年

その他、教科書の節ごとに掲載されている参考文献も参照してください。

スクーリング

▶オンデマンドのみ

■スクーリングで学んでほしいこと

第１回から第４回までの第１部では、福祉社会学を学ぶ上で土台となる用語や考え方について学習します。社会学の誕生は、近代社会の成立と切り離して考えることができません。そこで、近代化の背景や近代化による社会変動を中心に学習します。単に用語や人名を覚えるだけではなく、なぜそれが重要なのかを説明できるように文脈の中で把握してください。

第５回から第８回までの第２部では、近代以降の家族に関わる問題を学習します。私たちは家族の一員として生まれ、生活し、またみずからも家族を形成し、育んでいきます。しかし、家族とは私たちがイメージするほど自明な存在ではありません。そこで、家族という身近な存在に対して、みずからの経験から一歩距離をとって冷静に観察し、理論やデータをふまえた客観的な議論ができるようになってほしいと思います。

第９回から第 12 回までの第３部では、現代の社会問題について学習します。今日生じている社会問題には、近代社会に特有の構造的特徴が色濃く反映されています。そのため、第１部と第２部で学習した知識を総動員して、多面的に社会問題について検討してほしいと思います。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会と社会学　①役割と相互作用	近代社会の特徴、役割理論、構築主義、相対主義
2	社会と社会学　②近代化と社会的連帯	社会変動、近代化、社会集団、社会的連帯
3	社会と社会学　③社会的行為と秩序	ミクローマクロリンク、社会的行為、ホッブズ問題
4	社会と社会学　④合理性と社会的ジレンマ	合理的選択理論、コモンズの悲劇、囚人のジレンマ、フリーライダー問題
5	家族と生活　①家族と世帯	家族の概念、家族の機能、世帯の概念
6	家族と生活　②家族の変容	家族の構造や形態、人口構造、ジェンダーロール
7	家族と生活　③育児と労働	少子化、労働の概念、就業形態、ジェンダーバイアス

8	家族と生活　④生活とケア	ライフステージ、生活様式、虐待、生活の質
9	社会問題と福祉　①孤立死とコミュニティ	都市化、過疎化、限界集落、環境問題、高齢化、コミュニティ、自殺、社会的指標
10	社会問題と福祉　②犯罪と法	逸脱、ラベリング、スティグマ、社会規範
11	社会問題と福祉　③貧困の連鎖と教育	貧困、階層、社会関係資本、社会的排除・包摂、アファーマティブ・アクション
12	質疑応答	ここまでのまとめ
13	ここまでのまとめ	

■講義の進め方

配付資料をもとに板書もしながら進めます。

■スクーリング評価基準

到達目標記載内容に関連した問題を出題します（教科書・配付資料持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書を一通り読んでください。難しい言葉や議論については読み飛ばして構いません。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

教科書をもう一度読んでください。事前学習の時とは違った発見があるはずです。また、関心を持った節の末尾に記載されている参考文献を読み進めてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会システム（第 1 章第 1 節）	社会システムとは、社会システムの安定性、社会指標・国民生活指標・新国民生活指標と行政評価、社会階層と社会移動	社会システムの構造と機能を中心に学習しましょう。
2	法と社会システム（第 1 章第 2 節）	法の疎遠性、法の普遍性、法の不変性、開かれた法、社会病理現象	ウェーバーによる支配の三類型を中心に学習しましょう。
3	経済と社会システム（第 1 章第 3 節）	交換と市場、市場における力の不均衡、市場の社会性と市場の外部、労働市場と格差社会、経済の社会的制御	新自由主義と就業形態を中心に学習しましょう。
4	社会変動(第 1 章第 4 節）	社会変動とは何か、近代化、産業社会の発展、グローバル化	前近代社会から近代社会への変化を、社会学者たちがどのように描いているのかを比較してみましょう。
5	人口からみた社会変動（第 1 章第 5 節）	人口と社会、人口減少の時代へ、人口転換、少子高齢化のメカニズム、高齢化する人口構造、人口の地理的分布に	人口転換と少子高齢化を中心に学習しましょう。

		おける変化、社会変動・福祉国家・社会保障費用	
6	生活の捉え方（第２章第１節）	生活をめぐる現代的状況、生活をめぐる様式と人生の推移、生活時間、家計と支出、人間関係、「生活の質」の論理と方法	生活様式の変化と「生活の質」を中心に学習しましょう。
7	家族（第２章第２節）	家族という社会事象、家族の機能、現代日本の家族変容、福祉国家と家族	「制度としての家族」と家族の機能を中心に学習しましょう。
8	地域（第２章第３節）	地域の概念、コミュニティ、地域社会の集団・組織、都市化と地域社会、農山漁村地域と過疎化、地域のグローバル化とエスニシティ	シカゴ学派の諸理論と過疎化・限界集落を中心に学習しましょう。
9	社会的行為（第３章第１節）	ミクローマクロリンク、社会的行為、秩序問題、パーソンズ以降の社会的行為論の転換	方法論的集合主義と方法論的個人主義の違い、社会的行為の四類型、合理的選択理論を中心に学習しましょう。
10	社会的役割（第３章第２節）	「役割」という言葉、役割研究の系譜、自己と他者、交渉としての相互行為、役割と地位との関係、役割集合の理論、役割研究からみえること	社会的役割に関わる用語を整理して理解しましょう。
11	社会集団と組織（第３章第３節）	集団の概念、集団の類型、近代組織の展開、集団的・組織的現実の多様性	社会学者たちが集団をどのように分析しているのかを比較しましょう。また、官僚制の特徴を整理しましょう。
12	社会的ジレンマ（第３章第４節）	個人的合理性と社会的合理性の矛盾、囚人のジレンマ、共有地の悲劇、社会的ジレンマの定義、ジレンマ解消への方策、社会的ジレンマを超えて	囚人のジレンマや共有地の悲劇を通じて社会的ジレンマを理解し、その解決方法を考えましょう。
13	社会関係資本と社会的連帯（第３章第５節）	近代化と社会的連帯、社会関係資本の理論、負の社会関係資本と社会的排除	社会関係資本に関わる論点を中心に学習しましょう。
14	社会問題の捉え方・日本社会と社会問題（第４章第１・２節）	社会的な産物としての犯罪、社会統制が犯罪を創出する、レッテルを操作する人々、社会学と社会問題、「新しい」貧困とは何か、生きがたさの形、社会からの撤退、親密圏という社会問題、社会問題と福祉	第１章のラベリング理論と第２章の非行との関連性に着目しながら学習しましょう。
15	共生社会と権利（第４章第３節）	グローバル化と生活様式の変化、二つの革命と人権意識、人権・生存権・社会権、共生社会の実現に向けて	「ジェンダー共生」「異世代共生」「多民族共生」を中心に学習しましょう。

■レポート課題

１単位め	近代化のきっかけとなった出来事をまとめた上で、近代化によって社会がどのように変化したのかを多面的に論じてください。
２単位め	家族の類型や機能をまとめた上で、現代の家族生活に生じている変化について多面的に論じてください。
３単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
４単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

福祉社会学を学ぶ上で大切にして欲しいことは、ひとつの社会現象を様々な視点から分析するということです。特に、福祉に関わる社会問題を考える場合、一問一答式にただひとつの「正解」があることは稀で、ほとんどはその問題を考える人の立場ごとに異なる解答があります。そのため、ひとつの問題を色々な側面から検討し、比較し、客観的なデータを参照しながら考察する多面的な視角が求められます。

今回出題しているレポートは、教科書のひとつの節をまとめるだけでは不十分です。「近代化」にせよ、「家族」にせよ、社会の様々な領域と関わっています。したがって、その変化を分析するためには、色々な視点から考察を加える必要があります。採点する際には、どれだけ広い視野から問題を考えているのかを評価します。

また、福祉社会学は私たち自身の暮らす社会を対象にした学問ですので、私たちの生活と密接に関わり合っています。そのため、あなた自身の生活に問題を引き寄せて考えることで、あなたにしか書けないレポートになります。近代化による社会変動や家族の機能の変化という抽象的な問題は、あなたの生活とどのように関わっているのでしょうか。あなたにとって、この問いはどのような意味を持つのでしょうか。採点や評価をする際には、こうした独自性を評価します。

最後に、教科書の内容に関する理解が正確かどうかを評価します。確かに、福祉社会学で使用される概念や社会学者たちの理論には、難解なものもあります。そこで、教科書を読んでもよくわからない事柄については、辞書や参考図書で関連する内容を確認したり、スクーリングの資料を復習したりして、正確に理解できるよう努めましょう。

【1 単位めアドバイス】

このレポートでは、前半でなぜ近代化が生じたのか、きっかけとなった出来事は何だったのかを簡潔にまとめてください。その上で、後半では近代化が社会にどのような変化をもたらしたのかを論じてください。

なお、教科書の第 1 章第 4 節に「近代化」という項目がありますが、この部分だけではなく、教科書の様々なところで近代化による社会変動が議論されています。そのため、第 1 章第 4 節を中心としながらも、教科書や参考図書をよく読んで、色々な問題を視野に収めたレポートを作成してください。

【2 単位めアドバイス】

このレポートでは、前半で家族に関する様々な分類の仕方や家族の持つ機能をわかりやすく整理してください。その上で、後半では現代の家族に生じている変化や、それがどのような問題を生み出しているのかについて、皆さんの家族生活と関連させながら論じてください。

なお、教科書第 2 章第 2 節に「家族」という項目がありますが、この部分だけではなく、教科書の様々なところで家族に関わる問題が議論されています。特に、第 3 章で扱われている社会問題の多くは、家族と深く関わっています。そのため、第 2 章第 2 節を中心としながらも、教科書や参考図書をよく読んで、色々な問題を視野に収めたレポートを作成してください。

【3・4 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

科目修了試験

■評価基準

1 ）授業で学習した社会学の用語や概念を正確に理解し、解答する際に活用できている。

２）現代社会に生じている社会問題の歴史的背景を理解し、考察に反映できている。

３）問題解決に向けて、授業内容をふまえた建設的な議論ができている。

４）文章が読みやすく、適切な分量でまとめられている。